

第3次スポーツマスタープラン 令和4年度取組み評価シート

[参 考]

第3次スポーツマスタープラン数値目標

成人のスポーツ実施率（週1回以上）

2016年	2018年	2020年	2022年	2028年
44.6%	38.8%	50.3%	48.1%	65.0%

市民意識調査

※第3次刈谷市スポーツマスタープランに係る中間アンケート調査結果（令和5年度実施）56.1%

■第3次スポーツマスタープラン 令和4年度取組み評価シート

施策（1） 活動プログラムの充実

スポーツには「する、みる、ささえる」など多様な関わり方があることから、だれでも、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツ活動に関わることができるよう、様々なプログラム活動への参加の機会を提供する。

(1) 主たる内容	(2) 参考数値			
○スポーツへの参加機会の拡大	評価指数 /年度	R2	R3	R4
○スポーツを始めるきっかけづくり ○地域におけるスポーツ活動の推進	各種大会、イベント参加者数	9,834	13,070	17,043
○競技力の向上 ○子どもの体力向上	全国大会等への出場者数	92	233	499
<p>(3) 関連事業の取組み状況 全52事業（うち拡大1事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニア世代の競技への正しい知識の習得に向け、ホームタウンパートナーチームと連携し、刈谷キラキラ教室開催の機会の拡大を図った。 ・障害者団体に補助金を交付し、団体が実施するスポーツ・レクリエーション事業（ボッチャ大会など）を支援した。 ・子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に、様々な事業を実施している（健康推進課8事業）。特に高齢者世代に対しては、多くの事業を実施することができる（長寿課9事業）。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止になった事業や縮小して開催する事業などがあった。 				
<p>(4) 課題への取組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツに取り組む時間を取りにくい世代（女性及び働く世代など）に対する解決策などをとることができていない。 ・市社会福祉協議会と連携し、市社会福祉協議会主催のボッチャ大会に、市スポーツ推進委員協議会のスポーツ推進委員が係として協力し、障害者スポーツの普及に努めた。 				
<p>(5) 今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの実施頻度の低い女性及び働く世代を対象として、新規事業の実施や現事業の拡大や見直しを行い、他課等と連携した事業の実施（新規・継続・拡大）を検討する。 ・人口比率が高まる傾向の高齢者層を対象とした事業を実施（継続及び拡大）する。 ・次世代を担う子どもたちが、幼少期からスポーツに触れる機会を増やし、スポーツが好きになるような事業の実施を検討する。 ・ニュースポーツ普及事業を始め、障害者スポーツの普及に努める。 				

■第3次スポーツマスタープラン 令和4年度取組み評価シート

施策(2) クラブ・団体の育成

市民が所属するクラブ・団体の安定的な運営の確保とともに、組織力の強化を支援し、クラブ・団体の育成を通じて、スポーツ活動の充実を図る。

(1) 主たる内容	(2) 参考数値			
○総合型地域スポーツクラブの育成	評価指数 / 年度	R2	R3	R4
○統括団体の組織強化	総合型地域スポーツクラブ加入者数	1,391	1,566	1,639
	スポーツ協会加入者数 (スポーツ少年団加入者数)	11,831 (569)	11,486 (606)	10,895 (599)
	レクリエーション協会加入者数 (うちスポーツ関係団体分)	1,714 (866)	1,673 (829)	1,647 (836)
<p>(3) 関連事業の取組み状況 全7事業(全て継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各団体へ対する事業交付金(補助金)等による活動支援や、教室や大会等の広報活動の実施、各団体主催・主管の大会等を開催した。 				
<p>(4) 課題への取組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合型地域スポーツクラブの認知度向上及び会員増に向けた地区回覧や広報誌への掲載に取り組んだ。 				
<p>(5) 今後の方向性</p> <p>[総合型地域スポーツクラブ]</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知度の向上に向け、情報の発信だけでなく、市民ニーズに合った教室や講座などの開設を各クラブに検討いただくなど、自主的・自立的な取組みをするような体制を整える。また、クラブのさらなる育成を目指し、総合型地域スポーツクラブ研究会において調査研究活動を行うとともに、組織力の強化に向けた支援を行う必要がある。 <p>【参考:総合型地域スポーツクラブへ参加していない人のうち、参加の意向がある人】</p> <p>「自分の希望する活動があれば参加してみたい(28.2%)」</p> <p>「どんなことができるのか分からないのでとりあえず知りたい(40.8%)」</p> <p>[スポーツ協会・レクリエーション協会など]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各団体は、地域のスポーツ振興の中心であり、本市のスポーツ推進の中核を担う組織であるため、継続した支援を行うとともに、団体間の密接な連携・協力に努める。 競技者同士のつながりを深める。 広報活動等の拡充に努め、市民のスポーツ参加、スポーツの普及・振興を図る。 				

■第3次スポーツマスタープラン 令和4年度取組み評価シート

施策（3） 施設の整備・充実・開放

さまざまなスポーツ施設において、その利用状況なども加味し、どのようなサービスを、どの施設で提供するかを考慮して、市民が活動しやすい施設の整備・充実を検討する。また、市民が安心して、気軽にスポーツ施設を利用することができるよう、既存施設については、より適正な管理・運営に努める。

(1) 主たる内容 ○施設の計画的な整備・修繕 ○既存施設の適正な管理運営 ○活動拠点の充実	(2) 参考数値			
	評価指数 / 年度	H19	H25	H29
	スポーツ施設の利用に満足している人(%)※	45.3	66.6	74.2
(3) 関連事業の取組み状況 全15事業(全て継続) 市民の運動活動拠点として、施設を管理する指定管理者と連携しながら、総合運動公園や体育施設の適正な管理・運営を行った。なお、各施設の使用状況については、別紙の体育施設使用状況のとおり。				
(4) 課題への取組み状況 <ul style="list-style-type: none"> 小中学校体育施設スポーツ開放事業について、令和5年度からの小学校体育館空調料金徴収に向け料金設定や運営に必要な規則の改正を行った。さらに事務の効率化を図るため運営委員会を廃止するなど、運用方法を見直した。 アジア・アジアパラ競技大会に向けた施設整備であるウェーブスタジアム刈谷のバリアフリー化のための実施設計をはじめ、ウィングアリーナ刈谷の更衣室等の空調設備改修や、刈谷市体育館の自家用発電機の交換等、スポーツ施設の適切な管理を行った。 市民が気軽に取り組むための環境づくりとして、青山公園のウォーキングコースの設計を実施するとともに、日高公園のウォーキングコースの整備を行った。 				
(5) 今後の方向性 <ul style="list-style-type: none"> 小中学校体育施設スポーツ開放事業では、引き続き利用者の利便性や安全性の向上により、安定かつ質の高いサービスが効率的に利用できるような施設管理や運営体制を整える。 市内体育施設や設備等の老朽化対策として、計画的な改修を検討する。 市民ニーズを勘案して、施設の拡張整備及び機能の充実に努め、利用しやすい環境の整備に取り組む。 (仮称)逢妻川河川敷運動広場整備をはじめ、施設の充実に努める。 公園等において、市民が身近な場所で気軽に運動が行えるようスポーツ環境の充実に努める。 				

※第3次刈谷市スポーツマスタープランに係る中間アンケート調査結果
(令和5年度実施)

施設を利用したことがある人のうち、スポーツ施設の利用に満足している人 42.4%

■第3次スポーツマスタープラン 令和4年度取組み評価シート

施策(4) ささえる人材の育成

市民がスポーツ活動を継続するためには、だれもが気軽に参加できるスポーツプログラムとそれを適切に指導する指導者やその運営を支援するスポーツボランティアなどのささえる人材が必要であることから、市民がスポーツ活動に取り組み、継続できるよう、指導者やスポーツボランティアなどのささえる人材の育成に努める。

(1) 主たる内容	(2) 参考数値(「-」は、調査年非該当)				
	評価指数 / 年度	H29	R2	R3	R4
○優れた指導者の育成と確保					
○地域のスポーツリーダーの充実	スポーツリーダー養成講座修了受講者数	37	中止	23	40
○指導者のネットワークづくり	「ささえるスポーツ」の認知度(一般)(%)※	12.3	-	-	-
○スポーツボランティアの育成と確保	スポーツ推進委員認知度(知らない人)(%)※	60.2	-	-	-
(3) 関連事業の取組み状況 全5事業(全て継続)					
スポーツ推進委員が総合型地域スポーツクラブの運営者として携わるとともに、地域との調整役を担うコーディネーターとして育つような取組みを行った。					
(4) 課題への取組み状況					
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツボランティアを一般募集するイベントがほとんどないため、「ささえるスポーツ」を実践する機会の提供の拡大が図れていない。 ・スポーツ推進委員を市社会福祉協議会主催のボッチャ大会にスタッフとして派遣し、障害者スポーツへの理解を深めるとともに、「ささえるスポーツ」の活動を支援した。 ・スポーツリーダー養成講座の修了者から8名を生涯学習課の指導者名簿へ登録し、指導者のネットワークづくりに努めた。 					
(5) 今後の方向性					
<ul style="list-style-type: none"> ・身近なスポーツリーダーであるスポーツ推進委員の活動支援を行う。 ・市民だよりやイベントでスポーツ推進委員を紹介したり、活動写真パネルを設置したりすることなどにより、スポーツ推進委員の認知度向上と活動・イベントの周知を行う。 ・スポーツイベントを行う際に、指定の団体(学校や近隣企業など)のみにボランティアを募集し、イベントを開催するだけでなく、幅広く募集する方法を検討する。 ・スポーツリーダー養成講座の修了者の活用方法について検討する。 					

※第3次刈谷市スポーツマスタープランに係る中間アンケート調査結果(令和5年度実施)

- ・「ささえるスポーツ」の認知度(一般) 12.2%
- ・スポーツ推進委員認知度(知らない人) 66.2%

■第3次スポーツマスタープラン 令和4年度取組み評価シート

施策（5） 情報の提供

市民がいつでも、どこでも手軽にスポーツに関する情報を得られる環境づくりに努め、市民のスポーツ活動のきっかけづくりや活動の継続を図る。

(1) 主たる内容	(2) 参考数値（「-」は、調査年非該当）				
○スポーツ情報の積極的な発信	評価指数 / 年度	H29	R2	R3	R4
	スポーツ行事の情報を知らなかったと回答した人の割合（%）※	17.2	-	-	-
	スポーツ行事の情報源（市民だより）（%）※	35.4	-	-	-
	スポーツ課 Instagram のフォロワー数（人）※3月31日時点			993	1,045
<p>(3) 関連事業の取組み状況 全12事業（すべて継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種大会、イベントなどのスポーツに関する情報やホームタウンパートナーチームの試合情報などを市民だよりへ掲載し、スポーツ情報に親しみを持ってもらえるよう工夫しながら市民への周知を図った。 市社会福祉協議会が開催する障害者スポーツの大会について、市民だよりへの掲載やポスターの掲示等、市民への情報提供を行うことで、障害者スポーツに対する市民の理解や関心を高めた。 					
<p>(4) 課題への取組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ課 Instagram による情報発信など、様々な媒体で情報の発信を行った。 					
<p>(5) 今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> SNS 等の普及により、スポーツ行事の情報を市民だよりから得る割合が低下していることから、市公式 SNS などの様々な方法でスポーツ情報を発信していく。 情報発信にあたっては、ターゲットを整理し、効果的な方法を検討する。 <p>（例：小中学生、子育て世代、働く世代など）。</p>					

※第3次刈谷市スポーツマスタープランに係る中間アンケート調査結果（令和5年度実施）

- ・スポーツ行事の情報を知らなかったと回答した人の割合 18.5%
- ・スポーツ行事の情報源（市民だより） 34.8%

■第3次スポーツマスタープラン 令和4年度取組み評価シート

施策(6) スポーツを通じたまちづくり

本市の恵まれたスポーツ環境を活用し、スポーツを通じて派生するさまざまな交流活動、市の魅力向上・発信など、魅力と活力にあふれるまちづくりに取り組む。

(1) 主たる内容	(2) 参考数値(「-」は、調査年非該当)				
	評価指数 / 年度	H29	R2	R3	R4
○スポーツ交流の促進					
○ホームタウンパートナーチームとの連携による市の魅力向上・発信	ホームタウンパートナーチームの認知度(%)※	37.8	-	-	-
○スポーツを通じた魅力づくり	トップリーグ等の試合数(回)	59	39	60	70
	刈谷キラキラ教室(参集型)開催数(回)	3	0	4	8
	刈谷キラキラ教室(派遣型)開催数(回)		1	1	3
(3) 関連事業の取組み状況 全6事業(うち縮小1事業) コロナ禍でも優れたスポーツ文化に多く触れていただくための機会の提供に努め、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会記念展示や、ワールドカップに出場するバスケットボール女子カナダ代表チームへ市内小中学生からの応援メッセージ動画を送付するなど、レガシーの継承とカナダとの交流を図った。					
(4) 課題への取組み状況 ・各課に協働可能な活動を調査し、本市の大きな地域性であるホームタウンパートナーと各課が協働して、引き続き地域貢献活動を実施した。 ・ホームタウンパートナーによる参集型刈谷キラキラ教室(6チーム計8回)と派遣型刈谷キラキラ教室(1チーム計2回)を実施した。 ・ホームタウンパートナーによる親子観戦招待を市民だよりにより広報し、17試合に合計608人の親子を観戦招待した。身近にトップスポーツチームの試合をご覧いただくことで、ホームタウンパートナーの認知度向上に努めた。 ・ホームタウンパートナーのシーホース三河、トヨタ紡織サンシャインラビッツ、FC刈谷がスポーツ教室の講師を務めた。					
(5) 今後の方向性 ・ホームタウンパートナーがさらに地域に根付くように、総合型地域スポーツクラブと連携した教室の開催や、スポーツ分野以外の取組み(他課等との連携の拡充)を、引き続き実施できるよう努める。 ・教育現場と連携した取組みを強化するため、参集型刈谷キラキラ教室に加え、派遣型刈谷キラキラ教室のさらなる拡充を図る。 ・ホームタウンパートナーの認知度向上に向けた取組みを検討する。 (参考:各チームによるスポーツ教室動画の作成など) ・ホームタウンパートナーOB・OGをスポーツ教室の講師として招くなど、企業スポーツが盛んな本市の特性を活かし、引退したアスリート等が指導者として学校や地域で活動できる環境を整備する方法を研究する。					

※第3次刈谷市スポーツマスタープランに係る中間アンケート調査結果(令和5年度実施)

ホームタウンパートナーチームの認知度 82.8%